別記様式（第４条関係）

会　　議　　録

会議の名称	平成 27 年度第 1 回宍粟市地域包括支援センター運営協議会	
開催日時	平成 27 年 6 月 17 日（水）　13：30～15：00	
開催場所	宍粟市役所北庁舎 4 階　401 会議室	
議長（委員長・会長） 氏　　名	垣尾会長	
委員 氏　　名	（出席者） 垣尾委員・高田委員・縣委員・ 山下委員（司法書士）・大谷委員・ 小倉委員・藤元委員・杉本委員・ 山下委員・淡井委員・中塚委員・ 谷林委員・堀田委員・春名委員・ 河野委員	（欠席者） 船積委員・秋田委員
事務局 氏　　名	志水次長、篠原次長、田中課長、平瀬課長、砂町副課長、谷林副課長、坂口、高田、亀井、中川	
傍聴人数	0 人	
会議の公開・非公開の区分及び非公開の理由	公開・非公開	（非公開の理由）
決定事項	（議題及び決定事項） ・宍粟市地域包括支援センター運営方針の策定 ・地域包括ケア推進事業・・・意見交換 ・地域ケア推進会議 ・認知症施策 ・医療と介護連携推進事業 ・いきいき百歳体操教室 ・専門部会活動	
会議経過	別紙のとおり	
会議資料等	別紙のとおり	

議事録の確認 （記名押印）	（委員長等） ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞

（会議の経過）

発言者	課題・発言内容
事務局	開会 事前配布資料の確認 新委員３名の紹介、高田委員、縣委員、堀田委員
垣尾会長	あいさつ
事務局	これからは会長に議事進行をお願いします。
垣尾会長	平成 26 年度実績は記載のとおりです。今日のポイントは（２）地域包括ケア推進事業と（４）認知症施策です。
事務局	（２）（４）についてご意見を頂きたいので、それ以外は簡単に説明します。 （１）宍粟市地域包括支援センター運営方針の策定　資料１　説明 運営方針について、委託のセンターの場合は法律で明記されていますが、県の指導では直営の場合でも運営方針を策定するようにとなっています。総合事業に向けて過渡期であるため、随時見直し、修正を行うこととします。 （３）地域ケア推進会議　資料３　説明 平成 27 年４月１日から地域ケア会議は法制化されました。地域ケア個別会議と地域ケア推進会議を総称して地域ケア会議と呼び、個別会議については随時開催しています。推進会議をこの運営協議会で兼務していただくことになっています。課題解決に向けて協議いただきたいです。 （５）医療と介護連携推進事業　資料５　説明 今年度の第１回目は６月２日に開催しました。今年度も昨年に引き続き、在宅医療講座を３回開催予定しています。
事務局	（６）いきいき百歳体操教室　資料６　説明 老人クラブ単位に啓発を行ってきました。当初目標 100 名より大幅に上回っています。集いの場にもなっています。

	会場費用や備品不足という課題もあります。課題解決につながる検討をしていきたいと考えています。 今年度も啓発活動をしながら、「しかけ」づくりとして、現在消費生活の講座も開催しています。より意欲を高めてもらえるよう市全体で交流会も考えています。
事務局	（７）専門部会活動　資料７　説明 ・介護支援専門員専門部会（５名）新任研修、スキルアップ研修等 今年度のテーマは、自立支援プログラムと地域ケア会議 ・認知症施策検討会　認知症カフェや認知症サポーター養成講座等協議 ・生活支援サービス推進会議　準備会としてこの６月に開催
垣尾会長	認知症施策検討会は今年から開催したのですよね…
事務局	認知症施策検討会を専門部会に位置づけたのは今年度からですが、昨年度は準備会として開催していました。
垣尾会長	質問等はありますか。（質疑なし）
事務局	（２）地域包括ケア推進事業　資料２　説明 現在色々な形で推進しており、市内部の調整会議である「地域包括ケア推進本部会議」をこの４月から開催しています。 配布資料の啓発リーフレットは一般向け用に作成しています。 医療と介護のみのサービスで高齢者を支えるのは非常に困難です。 地域での取り組み４点を挙げ、地域全体で支えるしくみづくりが必要です。集いの場づくりや見守り活動に力を入れていきたいと思っています。 地域で行なっている事業の紹介 神戸新聞の記事…高齢者の約７割は地域包括ケアについて知らない。
垣尾会長	市民の方にいかに啓蒙していくかが課題です。 皆さんの立場から感じたこと等意見を伺いたいと思います。
杉本委員	子どもの生き生きとした姿を見ることで、高齢者も元気をもらえるので、公民館等で高齢者と子どもが交流でき、困りごと相談ができる場があればいいと思います。
山下委員(むつみ園)	支え合い活動は高齢者の安心につながります。施設職員も専門職として外

	に出て何か協力していきたいと思います。
淡井委員	地域格差もあると思います。介護者の集いもありますが、介護技術等伝えられる場があればいいと思います。
中塚委員	地域に出て役に立てればと思います。現実、施設はクローズドな部分があるので、もっと地域に出て交流できればと。 養護老人ホームは特別養護老人ホームと少し違うためどのような施設か知らない方も多いと思います。
谷林委員	地域に見守り隊を作ることから始めるのではなく、自然な流れで一人一人が気にかける気持ちを持てたらいいと思います。
堀田委員	独居で認知症の方を支援している時、自分１人で抱え込んでしまいます。民生委員や社協の福祉サービス利用援助事業等、色々な支援が助けになっています。介護保険のサービスだけでは支援できず、地域の中で支えてくれる人がいたらと思います。 地域ケア個別会議で出た地域課題をこの場で提案し、この場で協議していただければと思います。
春名委員	小地域福祉活動を 20 年近く行ってきて、現在２期目でさらに市内５地区を対象にしています。ここ数年個々の関心は高くなっていると感じています。 地域包括ケアは社協の小地域福祉活動を更に充実していこうというもので、福祉のまちづくりと地域づくりは重なる部分が多いです。社協も小地域福祉活動に助成しているが、更に充実していこうとするなら、そこへの財政支援を検討いただきたいです。 来年から３次の計画を立てる時に、まちづくりや地域づくりの視点を入れていきたいと思います。
垣尾会長	社協さんのこれまでの知識等、この協議会で話していただきたいと思います。
河野委員	地域まで見ることができないのが医療機関の弱点だと思っています。地域に求められていることが病院ではできていないのが現状です。 まちの保健室のようなことものがもっと広くできないかと考えています。 サロン等、地域の行事にボランティアで参加してもいいと言う看護師もい

	るので、声を掛けてほしいと思います。
藤元委員	見守り活動はごく普通にあることだと思います。リーフレットに書かれてあるような活動になると少し難しいかと… 「地域包括ケアの出前講座に来てほしい」と手を挙げる人もいないかと思います。自分達から率先してはできないです。 いきいき百歳体操について、波賀と千種が少ない理由はなんですか。
事務局	昨年度は啓発機会が少なく、また教室をしたいけど、公民館の備品がなく開催に至らなかった地区もあります。
垣尾会長	自発的にできる方法を考えていきたいですね。
小倉委員	人との交流を大切に、健康づくりを目標に地域との交流も続けたいと思います。
山下委員(司法書士)	問題はそれぞれ抱えています。問題意識を持ってこの場で意見表明していただきたいです。司法書士は、日常的に介護関係等、家族や地域と密着した仕事をしています。後見人等の業務は専門職だけでは限界がありますので、市民後見人が必要です。相談する道はたくさんあります。住み良い社会にしていきましょう。
縣委員	今まで薬剤師が関わる部分は少なかったですが、これからは役に立てることがあれば協力していきたいと思っています。
高田委員	高齢者の死亡原因である肺炎は注目されていて、中でも誤嚥性肺炎も多く、口腔ケアが必要になってきます。訪問歯科や摂食嚥下障害の予防を中心に取り組んでいます。 いきいき百歳体操でもお口の体操を取り入れてほしいです。 来年２月中旬に脳神経外科の医師を招いて講演会を開きますので、参加いただければと思います。
事務局	（４）認知症施策　資料４-①　説明 認知症による徘徊で行方不明になることは、ケアマネとしても大きな課題です。緊急時の体制は整備しているので、今後は普段からの見守り体制を整備したいと考えています。 先ほどの皆さんからの意見を参考にさせていただきます。

	（４）認知症施策　資料４-②　説明
垣尾会長	質問等はありますか。（質疑なし）
事務局	情報提供 ７月１２日（日）に宍粟市の在宅生活と看取りを考える会が講演会を開催しますので、ぜひ参加いただければと思います。 ３月の運営協議会での意見回答 ①いきいき百歳体操やふれあい喫茶の補助について ふれあい喫茶については社協から補助していただいています。いきいき百歳体操については、今後まちづくり推進課と協議していきたいと思います。 ②介護者同士の意見交換の場について 認知症カフェへの参加を呼び掛け、市全体で集いの場を考えます。 ③民生委員・児童委員への地域包括ケアの啓発について 現在実施しています。今度は福祉委員へも啓発予定です。
大谷副会長	民生委員で事例検討していると、事例報告だけで終わることがあります。連携して、地域の福祉づくりを行っていきたいです。
事務局	他にご発言等はないですか。
大谷副会長	閉会